

ダイカトール A-147

大同化学工業株式会社
技術研究所

1 特 徴

- (1) 低粘度・第四類第四石油類の切削・研削油です。
- (2) 切削性に優れます。
- (3) 塩素フリー切削油で、公害問題を起こし難い。

2 用 途

一般切削 : 旋削・ミーリング・ドリル・リーマ・タップなど
(鋼・アルミ)

研削 : 円筒研削・工具研削など

3 一般性状

J I S	N 3 種 8 号相当品	引火点 (COC, °C)	2 1 2
外 観	黄色透明	塩素分 (%)	0
色 (ASTM)	L 2 . 0	硫黄分 (%)	1 . 4
密度 (15°C, g/cm ³)	0 . 9 1	脂肪油分 (%)	7 0 以上
粘度 (40°C, mm ² /s)	2 6 . 6	消防法	第四類第四石油類

※ 上記数値は、ラボサンプルの測定値であり、規格値ではありません。
外観(色)が濃くなることがありますが、性能には影響ありません。

4 一般性能

銅板腐食 (1 0 0 °C × 1 hr)	1
耐圧力 (MP a) 200rpm, 0.049MPa ステップ°	0 . 7 8
摩擦係数 μ	0 . 1 1

耐圧力 ; 曾田式四球形潤滑油試験機 摩擦係数 ; 曾田式振り子型摩擦試験機

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： ダイカトール A-147

会社名： 大同化学工業株式会社

住 所： 奈良県大和郡山市額田部北町 1021

担当部門： 品質保証部 担当者：森下 仁視

電話番号： 0743-56-1201 F A X 番号：0743-56-1204

2. 危険有害性の要約



分類の名称： 分類基準に該当しない

危 険 性： 消防法の危険物、第四類第四石油類の引火性液体

有 害 性： 有用な情報なし

環 境 影 響： 有用な情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：		(w t %)
油	脂	残り
鉍	油	17～24
合 成 エ ス テ ル		8～13
硫 化 油 脂		6～11
防食剤・酸化防止剤		少量

4. 応急措置

目に入った場合： 清浄な水で最低15分間、刺激がなくなるまで洗眼した後、眼科医の手当を受ける。

皮膚に付着した場合： 石鹸を使用し、十分に水洗いする。

吸 入 し た 場 合： 通風のよい新鮮な空気のある場所に移動させる。

飲み込んだ場合 ： 無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受けて下さい。

5. 火災時の措置

- 消 火 剤 : 消火薬剤 (粉末、炭酸ガス、泡)
初期の火災には、粉末消火器又は炭酸ガス消火器等を用いる。
消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行う。燃焼ガスを吸い込まないよう注意。

6. 漏出時の措置

- 環境に対する注意事項 : 流出した場合、河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法 : ウェス、吸着マット、砂等に吸収させ回収する。
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
着火した場合に備えて、消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火花、火炎、もしくは高温体との接近又は、過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。

- 保 管 : 危険物以外の物品を貯蔵しないこと。
冷暗所に貯蔵すること。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設 備 対 策 : 取扱いは、全体換気装置を設置した場所で行う。
許 容 濃 度 : 管 理 濃 度 : データなし
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 (1996 年度版) $3\text{mg}/\text{m}^3$ (鉍油ミスト)
(参考) ACGIH (1996~1997 年度版) TWA $5\text{mg}/\text{m}^3$ (鉍油ミスト)

保 護 具 :



保護めがねの着用



マスクの着用



保護手袋の着用

呼吸用保護具 : 密閉された場所及び蒸気の発生が多い場合は、必要に応じて防毒マスク又は送気マスクを使用する。

保 護 眼 鏡 : 眼、顔面への飛散保護のため、保護眼鏡 (ゴーグル型等) を使用する。

保 護 手 袋 : 耐油性保護手袋

保 護 衣 : 定められた作業衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：黄色～黄褐色透明液体

比重： 0.91 (15℃ g/cm³)

粘度： 26.4 (40℃ mm²/s (cSt))

溶解度：水に殆ど溶けない

引火点： 208℃

可燃性： あり…火気厳禁

発火性（自然発火性）： なし

自己反応性・爆発性： なし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性：熱に対して不安定

危険有害反応性の可能性：極めて安定であり、反応性ほとんどない。
但し、強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

(参考) IARC (グループ1) EU (カテゴリー1) 双方で、人に対して発ガン性があるとされている潤滑油は、含有されておりません。

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性については、有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従う。

空容器には残油があるので、空容器の切断、熔接、穴あけ等の加工をしないこと。

燃焼処理を行う場合は、少量ずつ燃焼させること。また、当該油剤には硫黄添加剤を含み、燃焼時に腐食性のガスや有害物質の発生が懸念されますので、その対策を行ってください

14. 輸送上の注意

国連分類及び国連番号：分類基準に該当しない。

国内規制：

輸送に当たっては、消防法、危険物の規則に関する規則に従う。

容器については、消防法、危険物の規則に関する技術上の基準に
定めたものを使用する。

15. 適用法令

消 防 法：消防法の危険物、第四類第四石油類 非水溶性（指定数量 6,000L）

労働安全衛生法：第57条の2、通知対象物質含有する。

鉍 油（169） 22wt%

航空法、港則法、船舶安全法：該当しない

P R T R 法：該当しない。

16. その他の情報

問い合わせ先：大同化学工業㈱ 品質保証部 TEL 0743-56-1201 FAX 0743-56-1204

引用文献等： 化審法 既存化学物質 ハンドブック第4版 化学工業日報社

化学物質安全データシート（MSDS）第1部：内容及び項目の順序

（平成17年12月）

石油製品安全データシート作成の手引き（平成9年2月）

製品安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づき作成され、化学製品を安全に取扱う為の参考情報として提供されるものであり、安全を保証するものではありません。
なお、記載内容の内、含有量、物理化学的性質等の値は、保証値ではありません。